

# 高脂質エコフィードと飼料用米（ソフトグレイン）を組み合わせた肥育豚の飼養技術

## 目的と特徴

・輸入飼料価格の高騰に対応するため、国産自給飼料である飼料用米（ソフトグレイン）と高脂質エコフィード（リキッドフィード）を組み合わせた肥育豚の飼養技術を開発しました。実証試験により、一般農家でも本技術が利用可能であることを確認しました。

### 高脂質エコフィード



高水分、高脂質な食品残さが主原料の市販リキッドフィードです。粗脂肪含量は約15%です。

### ソフトグレイン(SG)

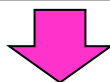


粳米を収穫後、粉碎せずにギ酸とプロピオン酸を添加して密封(保存処理)します。1年間の保管が可能です。

### 高脂SGリキッド飼料

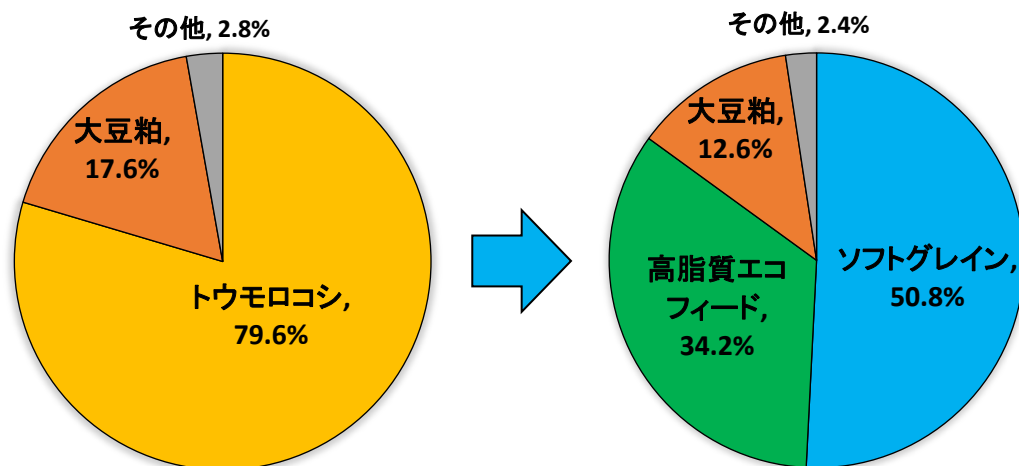


湿式破碎装置により高脂質エコフィードとSGを粉碎混合し、肥育豚に給与します。



## 所内試験および農家における実証試験の結果

- ①発育、肉質成績はトウモロコシ主体の配合飼料と同等です。
- ②高脂質エコフィードの併用により飼料費が低減できます。



トウモロコシを全量代替し、大豆粕の配合率を下げることができます。

## 成果

- ・高脂質エコフィードとソフトグレイン、大豆粕を粉碎混合し、ビタミン、ミネラルを調整して肥育豚に給与することで、良好な発育成績と肉質が得られます。
- ・トウモロコシを完全代替し、大豆粕の配合率を下げられるので飼料費を低減できます。
- ・飼料用米とエコフィードの併用により、飼料自給率の向上に役立ちます。

## 貯蔵粃米(SG)の調製法

- ①粃米を収穫後、粉碎せずにポリドラムか2重にしたポリ袋に量りこみ、粃米10kgに対して有機酸混合液3L(85%ギ酸90mL、プロピオン酸30mLを含む)を加え、密封します。
- ②雨水が入らないよう、屋内もしくはブルーシートをかけて屋外で保存します。
- ③SGは有機酸混合液を含めて、湿式破碎装置で他の飼料原料と粉碎混合して利用します。保存性は良好で、実証試験では調製後1年間保管したSGを使用しました。



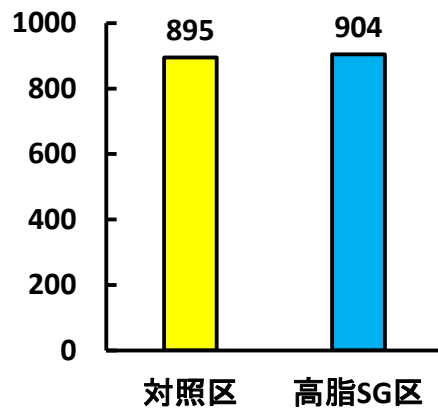
## 農家における実証試験

実証農場: 神奈川県厚木市  
 供試豚: LWD交雑種(各区10頭)  
 対照区: 市販配合飼料  
 高脂SG区: 高脂質エコフィード、  
 SG、大豆粕を粉碎混合したリキッド  
 飼料

### 飼料の一般成分(%乾物)

	対照区	高脂SG区
粗蛋白質	14.8	16.5
粗脂肪	3.5	7.7
NFE	74.1	63.0
粗繊維	3.4	5.9
粗灰分	4.3	6.9

### 日増体量(g/day)



### 枝肉・肉質成績

	対照区	高脂SG区
枝肉重量 (kg)	75.5	73.0
枝肉歩留	0.663	0.666
背脂肪厚(cm)	2.40	2.55
ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	33.2	31.4
筋肉内脂肪含量 (%)	4.0	5.6
脂肪融点 (°C)	39.0	37.9

### 対象作物、普及対象

- ・飼料用米、高脂質エコフィード、豚、全国

### 対象農家

- ・リキッドフィーディングシステムを採用している養豚農家

### 必要な道具

- ・リキッドフィーディングシステム、湿式破碎装置

### その他

- ・エコフィードの利用にあたっては、各地域の専門家に相談してください。
- ・畜産草地研究所のホームページでエコフィード設計プログラムを提供しています。  
<http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/contents/program/ecofeed/index.html>